

校長メッセージ 第2号

このところ「自粛疲れ」という言葉が報道されるようになってきました。「家から出てはいけない。」と言われていることに対する心理的な圧迫や体を動かしたい、外の景色を見たいという気持ちから、ちょっとだけならいいだろうと外出してしまいたくなることを指しているようです。普段の生活と違うことを要請されている、しかも、長期間にわたっていることから、そのストレスはかなりのものです。特に、子どもたちにとって、この状況は、なかなか理解できにくいのでよけいにストレスになると思います。私たちも何かよい方法はないかと模索しています。皆様に良いアイデアがありましたら、お知らせいただけると嬉しいです。

世界的なアーティストがインターネットをつないでチャリティコンサートを開催しました。日本のアスリートや芸能人もいろいろな発信をしています。残念ながら、私たち教職員は、というとなかなかよい手法が出てきません。また、アイデアがあっても発信する手段が少ないのかもしれませんが。現在、唯一有効な方法となっているメールやホームページのより効果的な活用を考えていきたいと思っています。

さて、そのような中、前週の月曜日から水曜日にかけてエフエム戸塚の「咲くらじ放送部」という番組で本校の教職員からのメッセージを流してもらいましたが、お聞きいただけでしょうか。「フレーフレー」というエールあり、ハンドベルの演奏ありとバラエティに富んでいたと思います。少しでも皆様に喜んでいただけたら嬉しいです。

ところで、このところ、困ったニュースが聞かれます。現時点で本校の学区では確認されていませんが、他都市で公園で遊んでいる子どもに対して「コロナウイルスに良く効く飴をもっているからあげるよ。」とか「私はお医者さんです。あなたはコロナウイルスにかかっているから診てあげる。」などと言葉巧みに接してくる不審者がいるらしいのです。子どもたちを公園で遊ばせるときは、3密対策も含めて、保護者の見守りをお願いします。家に帰ったら、手洗いも忘れずに。また、室内での密集をさけてください。今の時期、自宅に友達を招き入れることは避けた方が良いでしょう。

横浜は複数の鉄道路線で東京に行けるため、東京都の感染者数が縮小しないと横浜の外出自粛要請は解けないのではないかと感じています。もちろん、東京都だけでなく、私たちも感染防止のために今しばらく努力が必要です。今のところ、学校教育再開に関する情報は入っていません。ただ、大型連休明けの再開及び休業延長の両面について、神奈川県内の各市町村教育委員会から課長が集まって会合を開いているという情報があります。詳しい内容は分かりませんが、再開した場合の授業日数や進め方について話し合っているようです。また、再開できない場合の対応策も議題にのぼっているようです。

大型連休明けに学校再開となってほしいのですが、ちょっと心配です。政府の緊急事態宣言については大型連休中に検討するとの報道もあります。そうすると、学校の臨時休業が延長されるにしても、学校再開にしても連休中に教育委員会から通知が来て、保護者の皆様にお知らせすることになるかもしれません。

一日も早い学校再開を祈っています。新しい情報が入りましたら、メール配信やホームページへの掲載でお知らせいたします。 令和2年4月27日 校長 森山豊実